

DB  
1950  
2003  
HG

数学学習における  
コミュニケーション連鎖の研究

江森英世

寄贈  
江森英世氏

04910912

数学学習におけるコミュニケーション連鎖の研究

目次

序章 研究の目的	1
第1節 研究の意図と目的	2
第2節 研究の課題と構成	5
序章のまとめ	8
第1章 数学学習におけるコミュニケーションの基礎的な考察	10
第1節 先行研究の成果	11
第2節 コミュニケーション連鎖に関する3つの課題	19
第1章のまとめ	26
第2章 数学学習におけるコミュニケーションの特性	31
第1節 数学学習におけるコミュニケーション	32
第2節 数学学習におけるコミュニケーションの特性	40
第2章のまとめ	47
第3章 数学学習におけるコミュニケーションの分析モデル	50
第1節 方法論に関する基礎的な考察	51
第2節 コミュニケーションの分析モデル	54
第3節 分析モデルを用いた事例の分析	67
第3章のまとめ	78
第4章 数学学習における初源的なコミュニケーションの連鎖	82
第1節 初源的なコミュニケーション連鎖を捉える調査	83
第2節 初源的なコミュニケーション連鎖としてのフィードバック	85
第3節 認知的不協和の低減と連鎖的フィードバック	103
第4章のまとめ	111

第5章 数学学習におけるコミュニケーションの連鎖	114
第1節 協応連鎖と共鳴連鎖	115
第2節 超越連鎖	136
第3節 創発連鎖	149
第4節 数学学習におけるコミュニケーション連鎖の類型	156
第5節 類型論を用いた事例の分析	168
第5章のまとめ	195
第6章 数学学習におけるコミュニケーション連鎖の内化	199
第1節 学習者の認知過程を分析するための理論的枠組み	200
第2節 学習者の認知過程の分析	212
第3節 コミュニケーション連鎖を内化する学習者の認知過程	227
第4節 コミュニケーション連鎖の内化と高位概念の形成	233
第5節 学習の起源としてのコミュニケーション連鎖の内化	259
第6章のまとめ	274
終章 研究の結論	279
第1節 研究の結論	280
第2節 研究の成果と課題	283
終章のまとめ	286
文献	288
謝辞	303